

令和7年度 沼津市総合防災訓練

【日時】9月7日(日曜日)9:00~11:00

防災訓練の意義は、災害時に自ら周囲の安全を確保する正しい行動を身につけること、防災意識を高めること、そして地域や組織の連携強化とBCP(事業継続計画)の検証にあります。訓練を通じて災害への理解を深め、避難経路や防災資機材の使い方を確認することで、いざという時の混乱を最小限に抑え、実践的な行動を反射的に行なわれるレベルまで目指します。

1、【災害時の正しい行動の習得】 身を守る為の低い姿勢での非難や、非常口・避難所の確認など、具体的な手順や行動を繰り返し練習することで、知識を確実なものとし、いざという時の反射的な行動を促します。

2、【防災意識の向上】 災害はいつ起こるか予測できないため、日頃から訓練を行うことで、災害の現状や原因、被害を最小限にとどめる方法について理解を深め、適切な意思決定と鼓動ができるようになります。

3、【地域・組織の連携強化】 地域住民や学校、職場などの組織内で連携し、協力体制を築くことは、大規模災害時の共助(助け合いに)不可欠です。

訓練を通じて、互いの役割や避難所、避難経路を事前に確認し、組織として対策見直しや改善を促しましょう。

【大岡南小学校校区防災訓練】

参加者:大岡中学校3年生、各自治会役員他

参加自治会:木瀬川、平和郷、下石田、日吉、大岡団地

各自治会の避難所受付終了後、4グループに分かれて体験・説明を受けました。学校には生徒の飲む飲料水しか保管されていません。一般人には防火用水(マンホール)に備蓄されている40トンの水しかなくそれを浄化して使うしかありません。

マンホール・可搬ポンプ

緊急時浄水装置

きれいになった水

水質検査





下石田自治会：下石田公会堂にて、中学1・2年生を中心に防災倉庫の見学会を実施しました。



【地域・組織の連携強化必要】 地域住民や学校、職場などの組織内で連携し、強力態勢を築くことは、大規模災害の共助(助け合い)は不可欠です。訓練を通じて、互いの役割や避難場所、避難経路を事前に確認し、組織としての対策見直しや改善が必要です。

【防災資機材・整備の点検重要】
 消火器や AED の使い方、避難場所、避難経路などを実際に確認することで、防災資機材の点検や整備の不備を発見する機会にもなります。

【中石田自治会・富士町自治会 防災訓練】

～総合防災訓練の流れ～

自分と家族の安全確認・確保 ⇒ 組集合…高齢者等の災害弱者のサポートをしながら組ごとの避難所に集合。 ☆各組での安否確認 ⇒ 大岡小学校グラウンドへ避難！

一時避難所(大岡小グラウンド)で自治会全体が集合。避難完了後、防災本部に組集計表・中学生参加表を提出。自治会長の解散指示後、組長・防災委員・中学3年生は大岡地区センターへ移動⇒大岡地区センター2Fにて避難所模擬訓練。まずは任意に避難所運営スタッフを配役した後、避難所の仕組みを説明。避難所運営映像を視聴し、自身の行動に置き換えてスタッフの意見を聞いた。(避難所のトイレの正しい使い方・避難所の女子更衣室の在り方など)⇒中学生によるトイレテント組立と携帯トイレの実演⇒役員より、避難所模擬訓練のまとめ・終わりの挨拶で終了となった。

【参加者の感想】

模擬訓練は、中学生がスタッフとして頑張っている姿がとても頼もしく感じ、印象的であった。実際には、模擬訓練とは違う様々な困難な状況が予想されるので、決して他人事ではなく、日頃から、老若男女の多くの人に参加していただき、訓練で学び、知識を身につけることが重要であると思う。



組ごとの避難所に集合・安否確認！



一時避難所(大岡グラウンド)へ移動して避難！



一時避難所に避難完了後、防災本部に集計表を提出！



一時避難所(大岡グラウンド)へ移動して避難！



大岡地区センターに移動して受付！



避難所運営映像の視聴



中学生によるトイレテント組立と携帯トイレの実演。

